

みずほCustomer Desk Report 2020/07/30号 (As of 2020/07/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.14
TKY 9:00AM	105.11	1.1719	123.18	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	105.24	1.1807	123.77	1.2923	0.7160
SYD-NY Low	104.77	1.1715	123.06	1.3013	0.7197
NY 5:00 PM	104.92	1.1793	123.70	1.2912	0.7150
				1.2994	0.7188
NY DOW	26,539.57	160.29	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	10,542.94	140.85	日本10年債	0.010	▲1.00bp
S&P	3,258.44	40.00	米国2年債	0.132	▲0.98bp
日経平均	22,397.11	▲260.27	米国5年債	0.254	▲1.11bp
TOPIX	1,549.04	▲20.08	米国10年債	0.577	▲0.17bp
シカゴ日経先物	22,550.00	15.00	独10年債	-0.5000	1.10bp
ロンドンFT	6,131.46	2.20	英10年債	0.1175	1.15bp
DAX	12,822.26	▲13.02	豪10年債	0.8700	▲6.90bp
ハンセン指数	24,883.14	110.38	USDJPY 1M Vol	7.65	0.13%
上海総合	3,294.55	66.59	USDJPY 3M Vol	7.62	0.20%
NY金	1,953.40	8.80	USDJPY 6M Vol	8.21	0.06%
WTI	41.27	0.23	USDJPY 1M 25RR	-1.51	Yen Call Over
CRB指数	144.34	0.86	EURJPY 3M Vol	8.08	0.05%
ドルインデックス	93.45	▲0.24	EURJPY 6M Vol	8.41	0.04%

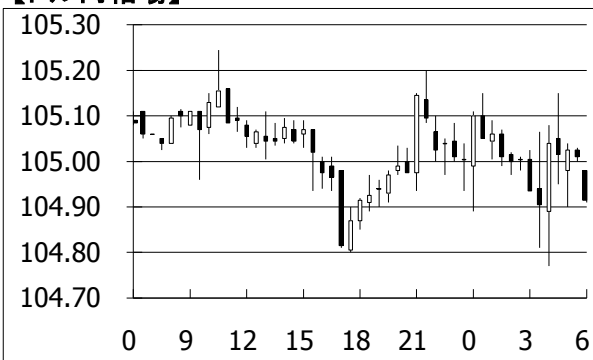
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月29日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	6月 -2.0%	-0.5%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	6月 16.6%	15.0%
7月30日	03:00	米 FOMC政策金利	- 0.00%-0.25%	0.00%-0.25%
	03:30	米 パウエル議長 会見	「景気回復のためあらゆる手段を尽くす。」	

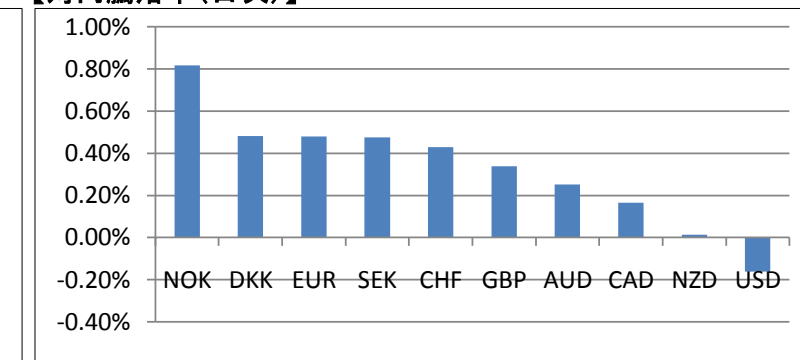
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月30日	17:00	独 GDP(前期比)・速報	2Q -9.0%	-2.2%
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	7月 -24.5	-35.6
	18:00	欧 失業率	6月 7.7%	7.4%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q A -34.5%	-5.0%
	21:30	米 個人消費	2Q A -34.5%	-6.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	7月 1445k	1416k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル円相場について】

7月29日の海外時間のドル/円は上値の重い展開が継続。FOMCでは政策金利の据え置きが発表され、パウエル議長のハト派な姿勢が再認識されるとドル売りが強まり、一時104.77円まで下落。その後小幅に買い戻され、104.97円でクローズ。FOMCの声明文が事前の予想通り無風だったことを確認できたことで、市場の反応はそこまで強いものにはならなかった。7月最大のイベントが終了し、今後新たな取引材料に乏しい中、広範なドル売り圧力による上値の重い状況が継続し、更なる下値を試す展開を想定しておきたい。

東京	東京時間は105.11レベルでオープン。日経平均株価が前日比軟調に寄り付くとドル円は下落し一時105円割れの水準に。その後は財務省幹部による「為替の安定は重要なので、緊張感を持って市場動向を注視する」との発言が伝わったことで105.24まで上昇した。その後はドルが対ユーロで売られ、一時104.94をつけ、結局105.02レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.02レベルでオープン。立ち上がり104.80円まで売られるも、じりじりと買い戻される。昼過ぎには本日のFOMCを控えてのポジション調整か105.14レベルまで上昇しNYに渡った。ポンドドルは、1.2931レベルでオープン。本日もドルが対ポンドで弱含んだ。朝方に上昇したあとは1.2978を高値にもみ合い1.2963レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	大手格付会社が、日本の格付け見通しを安定的から「リバイ」に変更したものの、円の反応は限定的となり、東京市場で仲値設定に掛けてドル買いが優勢となり、ドル円は105.24まで戻す局面もあったが、FOMC結果発表を控えドル売りが再び強まり、104.80まで反落し、105.14レベルでNYオープン。朝方は特段のニュースは見当たらないものの、FOMCを控えた調整から105.20まで戻すが、再びドル売りが強まり、米6月中古住宅販売仮契約が予想を上回ったが、104.89まで下落する。その後一旦105.15まで戻す局面もあったが、上値は重く、105円ちょうど付近での推移が続く。注目のFOMC声明文は特段驚くような内容見当たらず、ドル売りが再び強まり、続いて開始されたパウエル議長の記者会見では、引き続き支援的で緩やかな政策を継続すること等ハト派な姿勢が示され、ドル売りが持ち込まれ104.77まで下落する。その後はユーロドルの利益確定の売りが持ち込まれたことから105.15まで戻す。記者会見終了後はイベント通過から再びドル売りが強まり104.90まで下落し、104.92レベルでクローズした。一方、FOMC結果発表を控え、ドル売りが海外市場で強まったことから、ユーロドルは1.1770まで戻すが、その後は調整の動きに反落し、1.1723レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、1.1719まで売られるが、FOMC結果発表を控え再びドル売りが強まり、1.1778まで戻す。午後に入ると結果発表を目前に控え、ドル売りが強まり、月曜に付けた高値1.1781を抜けると1.1789まで上昇する。声明文発表後も再びドル売りが優勢となり、パウエル議長のハト派姿勢が確認されると更に上押し、昨年9/24以来のレベルである1.1807を付ける。その後は利食い売りに1.1751まで急落するが、ドル売りが継続し、1.1793レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・鈴木 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14